

IX

経営計画を進行管理するための指標

視点1. 学習と成長

成果を計る主な指標 /所管	計算式等	現状値 (H30実績)	令和4年度 実績	令和4年度 目標	目標設定の理由(考え方)
------------------	------	----------------	-------------	-------------	--------------

【目標1】研修及び人材育成の充実

研修医選考受験者数 /病院総務課	臨床研修医選考受験者数	9人	15人	25人	定員3人に対して、マッチングが十分に見込める上限数
実習受入人数 /病院総務課	本院で実習した学生数	296人	189人	190人	H30目標値(300人)に対して、年10人程度の増
職員の医療にかかる専門認定資格取得数 /病院総務課	医療技術部、看護部等の職員の認定取得人数	105人	178人	160人	専門(認定)薬剤師、NST専任栄養士 ^{※34} 、がん専門栄養士、各種認定資格(診療放射線科)、認定検査技師、医療安全管理者等各科の目標により設定
緩和ケア研修修了者数 /患者サポートセンター	本院で実施している緩和ケア研修の延修了者数	242人	311人	320人	年度あたり25人受講することを想定し目標値を設定
職場内スキルアップ研修 /医療技術部他	医療技術部等において職場内研修を行った所属数	未集計	11部署	12部署	診療技術部、事務局等全ての所属において職場内研修を実施

薬剤科 1回、臨床検査科 4回、リハビリテーション療法科 2回、MEセンター 5回、医事課 1回、診療放射線科 5回、
栄養科 0回、医療安全管理室 2回、病院総務課 2回、患者サポートセンター 2回、診療情報管理センター 4回、経営戦略室 5回

経営状況発信回数 /経営戦略室	院内職員向け経営状況発信回数	0回	20回	6回	四半期ごとに経営状況をまとめた短観を作成し、院内で共有する
--------------------	----------------	----	-----	----	-------------------------------

【目標2】ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場づくり

有給休暇取得日数 /病院総務課	有給休暇の取得日数	8.2日	10.2日	10日	新採用職員が消化できる最大日数
育児休業者・介護休業者数 /病院総務課	育児休業者と介護休業者の男女別人数	男 0人 女 49人	男 2人 女 30人	男 3人 女 38人	過去3か年の実績及び出生数平均を勘案し設定
時間外勤務時間 /病院総務課	職員の時間外勤務の時間数	243.6時間	202時間	180時間	1人、1月あたり15時間以内

【目標3】働く職員の満足度向上

離職率 /病院総務課	退職者数÷職員数	9.4%	8.4%	9.3%	過去3か年の離職率平均に対して20%減少
平均在職年数 /病院総務課	職員の在職年数の平均 医1 医2 医3	3年10月 12年0月 10年1月	5年 12年 11年	5年 13年 13年	過去3か年の在職年数平均に対して20%の伸び率を乗じ設定
職員満足度調査結果 /病院総務課	満足している職員数÷職員数 (職員満足度調査より)	新規 (未実施)	75.1%	82%	少なくとも4分の3以上の職員が満足感をもって働いていることを目指す

視点2. 業務プロセス

成果を計る主な指標 /所管	計算式等	現状値 (H30実績)	令和4年度 実績	令和4年度 目標	目標設定の理由(考え方)
------------------	------	----------------	-------------	-------------	--------------

【目標1】 チーム医療の推進

医療職職員数 /病院総務課	4/1時点の医療職職員数 医1 医2 医3	85人 77人 346人	94人 81人 335人	93人 81人 335人	地域で必要とされる医療機能の維持に必要な体制を定めた条例定数による
化学療法延患者数 /医事課	化学療法を実施した延患者数	1,003人	1,205人	1,100人	月あたり約92人×12か月 ※がん診療連携拠点施設の施設要件 1,000件
悪性腫瘍手術 /医事課	悪性腫瘍により手術を行った件数	490件	592件	600件	月あたり約50人×12か月 ※がん診療連携拠点施設の施設要件 400件
放射線治療照射件数 /診療放射線科	放射線治療照射件数(延べ件数)	2,498件	6,621件	6,500件	32.7件/日×245日(通常最大件数:35件/日)

【目標2】 病院機能の強化

救急応需率 /医事課	救急受入者数 ÷ 救急受入要請数×100	79.9%	83.4%	90.0%	院内経営目標指標 challenge90
救急受診患者数 /医事課	救急で受診した患者数	10,672人	14,504人	12,011人	年3%ずつ受入数を増加
小児科患者数 /医事課※発生リストから	入院小児科受診の延患者数 外来小児科受診の延患者数	9,172人 16,792人	7,558人 14,512人	7,500人 14,000人	24時間365日診療体制の継続により、他医療機関での受入が困難な症例について積極的な受入を実施
分娩件数 /医事課	年間分娩件数	634件	392件	500件	減少傾向にあるため、月あたり42件×12月
医療安全研修会参加率 /医療安全管理室	院内開催の医療安全に係る必須研修会の出席者割合	—	96%	95%以上	厚生労働省が定める参加率80%以上※R1年度より算定方法見直し

【目標3】 医療の質の標準化

院内クリティカルパス導入患者率 /医事課	クリティカルパス適用患者数 ÷ 入院患者数	46.4%	52.6%	51.0%	H30年度実績より、年度あたり約1%増
平均在院日数 /医事課	入院から退院までの平均日数	10.3日	10.0日	10.3日	全国平均より低いため、同じ日数で設定
アクシデント報告件数 (レベル4a以上) /医療安全管理室	レベル4a(事故により長期にわたり治療が続く場合)以上のアクシデント報告件数	0件	0件	0件	レベル4a以上のアクシデントが発生しない状況を継続する
災害発生時医薬品等確保協力協定数 /病院総務課	災害発生後に医薬品等の確保にかかる協力事業者数	1社	1社	1社	SPD(院内物流管理システム)1社を想定

【目標4】 地域連携の推進

紹介率 /患者サポートセンター	他医療機関からの紹介患者数 ÷ 初診患者	70.3%	84.7%	80.0% 以上	地域医療支援病院として、紹介率 80%以上を目標とする
逆紹介率 /患者サポートセンター	他医療機関への紹介患者数 ÷ 初診患者	50.0%	82.6%	80.0% 以上	地域医療支援病院として、逆紹介率 80%以上を目標とする
院外講座開催回数 /患者サポートセンター	市民、地域医療機関等を対象とした 講座の開催回数	13 回	22 回	13 回	地域医療従事者研修の条件(12 回/年)を満たす回数

視点3. 財 務

成果を計る主な指標 /所管	計算式等	現状値 (H30 実績)	令和 4 年度 実績	令和 4 年度 目標	目標設定の理由(考え方)
------------------	------	-----------------	---------------	---------------	--------------

【目標1】 収入増加・確保対策の推進

DPC 医療機関別係数 ^{※35} /医事課	機能 I + 機能 II + 基礎係数	1.3463	1.4434	1.4497	地域医療支援病院(+0.304)、看護職員夜間 12 対 1 配置加算(+0.024)、25 対 1 急性期補助体制加算(+0.005)の取得による
看護系加算対象月数 /看護部	看護補助 25 対 1 加算対象月数	10 か月	12 か月	12 か月	R2.8 月以降、継続して対象とする
	夜間看護 12 対 1-2 加算対象月数	0 か月	8 か月	8 か月	R4.8 月以降、継続して対象とする
入院・外来単価 /医事課	1 日 1 人あたり平均入院単価	57,351 円	66,257 円	67,000 円	医療機関別係数の増、地域医療支援病院による単価増による
	1 日 1 人あたり平均外来単価	14,274 円	18,022 円	17,524 円	紹介患者数増やリニアック稼働による単価増による
病床稼働率 /経営戦略室	延入院患者数 ÷ 365 ÷ 403 床	73.9%	64.1%	76.1%	実質稼働病床数等に対して院内経営目標 challenge90 に元に積算
栄養相談件数 /栄養科	栄養相談による加算件数	1,107 件	732 件	1,000 件	月平均実施件数:約 116 件×12 月
薬剤管理指導件数 /薬剤科	薬剤管理指導の実施件数(月あたり)	1,136 件	982 件	1,200 件	病床数×病床稼働率×4 件(最大)を継続
再掲)放射線治療照射件数 /診療放射線科	放射線治療照射件数(延べ件数)	2,498 件	6,621 件	6,500 件	32.7 件/日×245 日 (通常最大件数:35 件/日)
リハビリ見学时の取得単位数 /リハビリテーション療法科	在宅復帰時における家族等のリハビリ 見学に伴う取得単位数	0 単位	104 単位	125 単位	年間見学見込 360 件×1/2 割合で見学時間設定の必要性を見込む

【目標2】 支出管理の徹底

光熱水使用量 /病院総務課	電気の年間使用量	518 万 kwh	582 万 kwh	604 万 kwh	年 2%増加を想定
	ガスの年間使用量	834,661 m ³	69 万 m ³	70 万 m ³	
	上水の年間使用量	67,311 m ³	6.2 万 m ³	6.2 万 m ³	
	井水の年間使用量	29,735 m ³	3.0 万 m ³	2.6 万 m ³	
薬品・診材料費値引率 /病院総務課	薬品・診材料費 ÷ 公定価格 - 1	13.54%	15.1%	17.2%	値引率最終目標を 17.2%に設定し、段階的に上昇させる

【目標3】 経営分析による収支改善

職員給与費対医業収支比率 /経営戦略室	職員給与費÷医業収益 (地方公営企業決算状況調査 ^{*36} より)	53.5%	63.6%	52.0%	地方公営企業年鑑、同規模黒字で黒字病院の平均値を目標に設定
100床あたりの職員数 /経営戦略室	職員数×100床/403床(同上)	182.6人	209.9人	157.1人	地方公営企業年鑑、同規模黒字で黒字病院の平均値を目標に設定
材料費対医業収益比率 /経営戦略室	材料費÷医業収益	24.7%	26.5%	27.2%	地方公営企業年鑑、同規模黒字で黒字病院の平均値を目標に設定
医業収支比率 /経営戦略室	医業収益÷医業費用	88.3%	85.1%	86.8%	地方公営企業年鑑、同規模黒字で黒字病院の平均値を目標に設定
経常収支比率 /経営戦略室	経常収益÷経常費用	95.4%	103.8%	96.7%	地方公営企業年鑑、同規模黒字で黒字病院の平均値を目標に設定
試薬等費用の検討回数 /臨床検査科	単価見直し、試薬メーカーの変更等の見直し回数	0回	2回	2回	前年実績を参考に、年4回程度交渉

視点4. 患者サービス

成果を計る主な指標 /所管	計算式等	現状値 (H30実績)	令和4年度 実績	令和4年度 目標	目標設定の理由(考え方)
------------------	------	----------------	-------------	-------------	--------------

【目標1】 患者ニーズの把握と情報提供

患者満足度調査結果 /経営戦略室	満足している患者数÷回答数	88.7%	90.2%	90%	院内目標 Challenge90
感謝投書割合 /病院総務課	病院長への手紙(要望除く)における感謝の投書の割合	42.9%	39.0%	30.0%	実績値を踏まえ、3人に1人が満足を感じていることを設定
がん登録・生存状況把握割合 (予後判明率) /診療情報管理センター	生存状況把握数÷がん登録数	97.6%	99.9%	98%以上	全国集計に掲載されるために必要な割合(90%以上)を超える割合を維持

【目標2】 相談窓口の充実

がん相談支援センター相談件数 /患者サポートセンター	がん相談支援センターで相談を受けた件数	2,959件	2,546件	2,500件	これまでの相談実績を維持していく (地域がん支援拠点としての相談受付件数要件は特になし)
医療相談件数 /患者サポートセンター	医療相談として対応した件数	13,182件	20,017件	13,000件	相談の多様化に対して適切な対応を行っていく(入退院支援看護師分の相談分は除く)

【目標3】 患者さんが心地よく過ごせる施設整備

施設関連クレーム件数 /病院総務課	病院へのクレームのうち、施設に関連する件数	10件	4件	15件	老朽化を想定し、月1~2件を想定
外国語通訳利用者数 /医事課	外国語通訳利用患者数(延べ数)	3,710件	2,803件	3,600件	コロナ前の実績値を基に算出